

下水道・ごみ袋の料金値上げに反対



発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「J C P上伊那」



「一般会計等からの繰り入れ増を」

共産党市議団が提案

共産党伊那市議団は10月15日、富県のふるさと館で9月市議会報告会を開催、約30名が参加しました。

党市議団は、昨年度決算国保会計については、国保税値上げと同額を一般会計から繰り入れるとの約束を市が守っていないと反対。ごみ袋チケットなどの値上げ提案にも反対しました。

また、来年からの下水道料金値上げについては、一般会計からの繰り入れ等の対案を示したところなどが報告されました。

参加者からはバス料金や雨量計増設などの要望が出されました。



9月市議会報告を熱心に聞く参加者（10/15 富県）

市議団から「市民からの要望を運動化し、民主的市政の方策を検討していきたい」との表明があり、参加者は拍手で応えていました。

「下水道料金値上げSTOPの会」結成

「水道料0、04%値下げと下水道料金6%の値上げ」の条例案が12月議会に市から提出されるのが明らかになりました。

「下水道料金を考える会」はこれを受けて、10月29日JA本所で下水道問題学習会を開催しました。柳川広美議員から、下水道料金が値上げされると伊那市は県下2番目に高くなることや、一般会計から6500万円繰り入れれば値上げしなくていいことなどの報告がありました。

9月市議会

共産党衆院長野5区予定候補に



水野 ちかあき氏
(36)を發表
日本共産党衆院長野5区国政対策委員長

「水道料0、04%値下げと下水道料金6%の値上げ」の条例案が12月議会に市から提出されるのが明らかになりました。

29日JA本所で開かれた学習会



「下水道料金値上げSTOPの会」が結成されました。

全力で反対署名集めを

「会」は、値上げ阻止の取り組みを急速に強めることを確認。12月伊那市議会に向けて「下水道使用料6%値上げ反対請願」署名に取組むとし、当面1千名目標で推進するとしています。

地蜂

「ヤッター」と自然に声を出してしまいました。新潟知事選挙で東京電力柏崎刈羽原発に反対する知事米山隆一氏が誕生。それも民進党を離党し、共産・自由・社民三党の推薦を受けて、絶対有利だろうと言われた自民・公明両党推薦候補に約6万票の差をつけての初当選でした。また、今年7月の鹿児島県知事選挙でも「川内原発停止」を公約した三反園順氏が現職を破つての初当選となり、民意を反映した結果となりました▼国民の意識は変わったと思っていました。先般行われた、東京と福岡の補欠選挙ではいずれも自民党候補の当選でした。共産党提案の野党統一候補の推進もそう甘いものではないように見えます▼沖繩の辺野古・高江の基地建設など住民に直接係る地域の人は真剣に政府に「やめてくれ」と意思表示をしているのに、直接関係ない地方の反応はあまりにも身勝手と思えてなりません▼民主主義ってなんだ！

民Ⅱ国民が主人公の政治ではないのか。自民党安倍政治は財界の援護とアメリカの言いなり政治でしかなく、国民無視の独裁的政治となつています▼新潟知事選挙のように国民の意思が通用し、国民の声を聞く政治にするためにも、近づくだろう総選挙で共産党を大きくすることが求められています。
(H・I)

安倍暴走政治包囲へ共闘さらに

赤旗信州秋まつりに3千人集う

「安倍暴走政治包囲するために共闘をさらに」と、10月9日やまびこドームで共産党県委員会が開催した赤旗信州秋まつりに、3000人が参加。田村智子党副委員長の記念講演や文化プログラムを満喫。焼きそばや果物、衣類などの売店には行列が。伊那からの参加者から寄せられた感想を紹介します。

*「国会議員の藤野保史さん、井上哲士さんが新潟県知事選挙で急ぎよ来られなくなったのは残念だったが、都議会の実態や都議団の活躍のお話が聴いたので満足できた。最後に杉尾参院議員登場もあり、飽きさせない集会だった」 (60代女性)

*「参加してよかった。野党共闘ができ、いい話が聞けたので、頑張っていこうという気持ちを持てた」 (70代女性)

*「参院選の画期的勝利を受けて、素晴らしい秋まつりだった。「1月解散」にそなえ、党勢を大きくするために頑張りたい」 (60代男性)

*「橋本のぶよさん、大山とも子さん、田村さんは、東京にいたとき、一緒に闘った馴染みの仲間。今がすごい変化の時だと感じた。文化行事もよかった」 (60代女性)

網領パンフを読んで、今、生きていることがうれしい」 (80代女性)

良い政治実現にお力をお貸しください

私たち共産党は、安倍政権の自衛隊海外派遣、TPP批准、介護の切捨て、原発再稼働などの暴走政治をくい止め、国民のくらし優先の政治実現のため、野党共闘をさらに強め衆院選での飛躍的前進をめざしています。同時に、1月の共産党27回大会成功に向けて全力をあげています。

良い政治実現のため、しんぶん赤旗を読んで頂く方のご紹介など共産党を大きくするためにお力を是非お貸しください。連絡は、地元の議員や党員までお願い致します。 2016年11月1日 日本共産党伊那市委員会

がんばりましょう 「戦争法」廃止 スタンディング

3日 ベルシャイン前、手良中坪公民館前で「アベ政治を許さない」行動
19日 強行採決された日 スタンディング



10/19 西箕輪大萱交差点



10/19 三峰川大橋もと

*「杉尾・武田両新参議院議員の登場に、ひととき大きな歓声が。市民と野党の共闘が心をつにして闘い、勝利した喜びと確信に満ちた感動が広がりました。総選挙勝利への活動をさらに強めたいと思います。」 (70代男性)

西春近9条の会結成

鍋を囲み平和語り合う

10月22日まつり工房で、西春近9条の会(酒井重行事務局長・会員32名)結成記念懇親会を開催、約20人が参加しました。

すき焼き等3種類の鍋をかこみながら戦争体験や戦争の危機、平和の尊さ、九条を守る大切さについて語りあいました。

第二次世界大戦で名古屋港の軍事工場に動員された池上義郎さん(96才)は「湾内だから大丈夫と言われていたが、米軍が攻め入り大きな被害をうけた」ことを、まつり工房の北原永さんからは「母親の弟(学生)が、昭和20年8月14日満州で手りゅう弾を持って敵の戦車に飛び込み戦死した」ことが語られました。

会では、映画会や学習会、会員を増やす取り組みなどを強めたといまです。



怒り増大、だめだ！ 自民党の憲法改憲案に

熱心に討議する参加者



東春近九
条の会は10月27日、区内の集会所で憲法カフェを開催。大根汁とおにぎりをおお張りながら、「自民党憲法改正案」と現憲法を交互に読み比べ、不明な点について討議を深めました。

参加者のUさんは「とても良い勉強になりました」。また、Sさんは「自民党案は文脈も幼稚で、道徳も混じっていて、とても憲法

と言えない」と断じました。会では2回目の学習会を11月10日夜に予定しています。

原水禁大会の報告会



10/22 南箕輪での報告集会

10月22日南箕輪で、8月に行われた原水爆禁止世界大会の報告会が行われました。大会に参加した上伊那医療生協の青年職員、高教組の代表から報告がありました。

移住定住と子育て 飯島 光豊

先日、「日本一の子育て村」をめざしている島根県おのなんちょう 邑南町を行政視察しました。人口1万人余の町で、移住者ケアを徹底して行っており、若い移住者が増え、合計特殊出生率（二人の女性が一生に産む子供の平均数）が2・46で全国平均の1・46を大きく上回っています。また、保育園の統廃合など一切考えず、保育園

と小学校はセットという考えで、定員20人の保育園で6人の小規模保育をしています。「保育は数の理論ではない」と言い切り、正に移住定住と子育ての日本一の自治体を学んできました。

一方、伊那市は「子育て世代にぴったりの田舎」と雑誌に載りましたが、園児数が小学校校区で定員の50%を割ったなら「統廃合施設」にし、さらにそのまま5年が経過

飯島後援会で ゴルフコンペ

10月11日、飯島光豊後援会でゴルフコンペが開かれました。参加者は青空のもと、緑の芝生の上で、秋の空気を胸いっぱい吸い込みながら、ゴルフを楽しんでいました。終了後、懇親会も開かれました。

- 優勝 飯島隆さん（渡場）
- 準優勝 三沢節子さん（西春近）
- 3位 黒河内清彦さん（車屋）

特別講演として、被爆2世の堀浩子さんと長崎で被爆した木戸季市さん親子が原爆の恐ろしさや原水禁運動と平和の大切さなどについて熱く語りました。

すれば「休廃園施設」にされてしまいます。高遠第2第3保育園や長谷保育園、新山保育園などでは地域で毎年、園児確保の必死の取り組みが行われています。一旦休廃園問題が持ち上がると移住先候補から落ちてしまう現状があり、綱渡りの危機の状態にあると言われています。

人口減に歯止めをかけ、伊那市の将来を担う子どもたちのための政策をひき続き求めていきます。

フクロ & ぷろ

上の原々音 10

食生活 上の原 中村 光利

食生活は当初、ほとんど自給自足でした。専業農家といえは聞こえはいいが、現金収入を求めて稼ぎに出るなど考えられない時代だったので、自分で作付けし、収穫したもの以外は口に入らない生活、他には山野から採取したものくらい（とは言っても今の時代よりずっと豊富でした）でした。

水田は無く、全部畑作だったので、主食はほぼ百パーセント大麦で、粟とか黍（ほきびとも呼んだ）やトウモロコシ、コーリヤン、大豆等の穀物や芋類の入ったもので命をつなきました。蛋白源に兎や鶏を飼育しました。小皿を持って、塩、砂糖、醤油などを隣り近所で貸し借りしたのもこの時代でした。何の味付けもしない炒り大豆をポケットに入れて飢えをしのいだものでした。

また、昨日までウロウロしていた犬が、きょうの鍋に入っていたということもありまして。魚とりは、天竜川や三峰川まで行かなくとも、美篤など下の段の田の用水路でザルを持ち出しては、鯉や鮒、鰻ウナギ、どじょうなどを捕りました。秋の取入れの終わった田からタニシを、時期にはスグリ、桑の実、野苺、イタドリ、若菜など。



でも、喰い盛りの少年時代、腹を満たすことはありませんでした。

随想

伊那市議会の右傾化が心配

高遠 大場 美広 (63)

市議会における「緊急事態基本法の早期制定を求める陳情」が13対7で採択されたことを、伊那市議団だより369号(8月14日付け)で知りました。「緊急事態・・・」は、安倍政権が憲法改定の目玉としているもので、「災害緊急事態」を理由に国民の権利を制限し、総理大臣に権限を集中することを可能にする仕組みを作り出せるものです。麻生大臣が「ナチスの手口に学んだら」と口を滑らせ、国内外から痛烈な批判を浴びた「手口」そのものです。

すでに、災害時における緊急対策については、「災害対策基本法」があり、これまで支障が無かったことは、かかわった方々の証言からも明らかです。さらに、テロを含めた「戦時」での統制は、それこそ戦時中の暗黒を蘇らせるもので、右傾化が非常に心配です。

市会議員の皆さんは、八〇年前に過ちを犯し、戦争へと突き進んだような流れに与するのではなく民主主義と平和憲法を守り、市民を守る先頭に立っていただきたいと思います。



風物詩

稲わらの保存



取り入れが終わり稲わらは縄ない、わら細工や敷きわら用に田んぼで出番を待ちます。その昔は稲わらを高く積んだ「によう」。最近はあまり見られなくなりました。

(場所 手良 写真・文: 北原)

催し案内

☆ 南アルプスにトンネル

～リニアは夢の超特急?

お話: 松島信幸さん(地質学者・理学博士)

11月11日(金) 午後6時45分～

いなっせ501・502

主催 新日本婦人の会伊那支部

連絡先 尾崎(98-6303)

☆ 介護なんでも電話相談(無料)

11月11日(金) 午前10時～午後4時

県労連会館3階会議室

ご相談電話番号(フリーダイヤル)

0120-380110

主催: 長野県社会保障推進協議会

☆ 「戦争法」廃止スタンディング

11月19日(土) 午前7時～8時

西箕輪大萱交差点

主催 伊那市九条の会連絡会

☆ 第25次東北震災被災地支援隊出発

11月19日(土)～21日(月)

岩手県大槌町・釜石市

連絡先 党地区委(72-2465)

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半

いなっせ北側広場

主催: さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

(79-8702)